うえだ
上田高等学校関東同窓会・会報
第49号
6月9日
（水曜日）
平成5年
（1993年）
＝年2回刊＝
―発行―
上田高等学校
関東同窓会事務局
―発行人―
会長　横山誠之助（42）
〒185　東京都国分寺市
東元町1―36―15
編集人　馬場　武彦（54）
題字は故稲垣征夫氏（14）

7月9日、第32回総会へ

新体制スタート

新会長に山崎延秋氏（48期）

副会長に新しく甕、池田の両氏　小木曽氏は留任

関東同窓会の新しい会長が決まった。山崎延秋氏、48期。会がまだ関東支部と名乗っていた頃から同窓会活動に一致結束して当たってきた、ご存知ヨンパチ組のエースで、まだどこかに青年の面影を残す〝好熟年〟である。新会長の補佐役、副会長には、留任の小木曽誠氏（48期）に加え、新たに50期で元農林水産次官の甕　滋氏と〝主婦〟の池田松子氏（52期）が就任することになった。異色かつ新鮮な顔触れである。会はこの新体制のもと、新時代に向けた同窓会づくりに邁進する。

幹事長代行に池内氏（56期）

副幹事長に武田（60期）、岩井（62期）の2氏

新執行部の決定は、五月二十二日の幹事会で行われた。横山会長の任期満了に伴うものである。

まず新会長に48期の山崎延秋氏が満場一致で選出され、ついで新会長から、新しい役員人事の発表があり、これも全員の拍手で承認・決定された。

新体制は、副会長三人制をとり、留任の小木曽誠氏（48期）に加え、新たに50期で元農林水産次官の甕滋（もたい・しげる）氏と、52期の池田松子さんが山崎新会長を補佐していくことになった。これまで公務に忙しく、同窓会活動に参画するのは今回が初めて、という甕副会長、母校の女子生徒としては一期生に当たる池田副会長の執行部参画は、新体制のスタートにフレッシュでユニークな彩りを添えることになった。

幹事長人事は、まだ最終的に固まっておらず、幹事会では代行に池内紀雄氏（56期）、副に武田直樹氏（60期）、岩井重一氏（62期）の就任が決まった。

山崎会長は、会務運営に委員会制度を併用していくことも明らかにし、〝まだ構想段階だが〟と前置きして、企画、総務、会報編集、広告などの委員会を設け、差し当たり企画委員長に馬場武彦前幹事長の起用を提唱、全会一致で了承を得た。新体制のスタートとともに、各期の幹事名簿も出そろい、関東同窓会は、新陣容で七月九日の総会に向けて動きを開始した。

いざ、上田の夕べへ

関東同窓会第32回総会のご案内

【日時】　7月9日（金）　午後4時　受付開始
総　会　午後5時　開会
懇親会　午後6時　開会（8時閉会予定）
【会場】　如水会館　千代田区一ツ橋2－1－1
電話（03）3261－1102（代）
【交通】　1．神保町下車歩3分（都営三田線・新宿線）
2．竹　橋下車歩4分（営団・東西線）
3．首都高速道路　代官町・神田橋インターチェンジ下車
【会費】　一　般　7,000円
学　生（88～91期）　無　料

【総会次第】

総合司会・幹事長　馬場武彦（54）
司　会・副幹事長　市河富弘（54）　池内紀雄（56）　宮川克彦（58）
武田直樹（60）　岩井重一（62）

第1部　定期総会

1．開会の辞
副会長　小林孝雄（42）
2．あいさつ
会長　横山誠之助（42）
3．新会長紹介
会長　横山誠之助（42）
4．新役員紹介
新会長　山崎延秋（48）
5．来賓祝辞
同窓会理事長　金子八郎（39）
学校長　藤澤愛僖
6．議　事
事業報告　幹事長　馬場武彦（54）
会計報告　会計長　堀内茂雄（44）
監査報告　監　事　韮沢嘉雄（36）
飯塚哲夫（41）
平成5年度事業計画
新幹事長　池内紀雄（56）
平成5年度予算案
新会計長　高木快雄（53）
7．閉会の辞
副会長　小木曽　誠（48）

第2部　懇親会

1．開会の辞
副会長　甕　滋（50）
2．歓迎のあいさつ
会長　山崎延秋（48）
3．花束贈呈
4．あいさつ
前会長　横山誠之助（42）
5．新入生歓迎
企画委員長　馬場武彦（54）
6．来賓祝辞
7．乾　杯
8．懇親宴会
9．閉会の辞
副会長　池田松子（52）

伝統継承しつつ　いっそうの活性化を

新会長　山崎　延秋

去る二月十三日の幹事会において次期会長の指名を受けました。

上田高校関東同窓会の会員数は約六千名と聞いています。まさに多士斉々の諸先輩がおられる中で、不肖の身ではその任に非らずと考えました。しかし、数多くの会員の方々から励ましのお言葉を頂いてお受けすることに致しました。改めて責務の重さを再認識いたし身の引きしまる思いを致している次第です。

私は幹事長、副会長として、過去六年にわたり同窓会の会務に携ってまいりました。その体験をもとにして、横山会長の運営方針を継承して参りたい所存です。それは同窓生相互の親睦の活性化であり、母校の発展に寄与することであります。

現在は経済界も景気がきびしい状態であり、精神面でも不安定なものが強い中で、仲間意識から得る共有感は大切なものであります。

同窓会を構成する各卒業期毎の活動が活発になり、同期生を中心に同窓生相互の連けいによって、全体の親睦を図るのは当然のことでありますが、同好会の存在も無視することはできません。

スポーツ関係のOB会、地域親睦の会、職種・企業単位のグループが併せて十五、六存在しています。それぞれの会は先輩と後輩とが強い絆によって結ばれ、独自の活動を展開しています。これらの会の力を結集することによって更なる活力が得られることでしょう。また会員の中で比率を高めつつある女性会員についても、徐々に結集する基礎を作りたいものです。

幹事会は卒業期毎に選出された幹事によって構成されていますが、これらのグループからも委員を選出し、切り口を変えた見解によって会務運営に参画されるようにしたいものです。

先輩たちの努力によって育まれた同窓会に少しずつ新しい型を加えて、その本質を見極めながら時代に沿ったものにしたい。同期毎の幹事は最低でも5名は欲しいので欠落している卒業期は充足するようにお願いしたいと考えています。

無理はしないが目的に向って一歩づつ進む、しかも自然体で力むことなく続投です。

会員の皆様方のご指導とご協力により、私の責務を果して行きたいと考えております。

（やまざき　のぶあき／48期）

母校への恩返し

新副会長　甕　滋

このたび、山崎会長からお声がかかり、副会長を務めさせていただくことになりました。私自身、これまで同窓会の経験もなく、おこがましい思いがしますが、お引受けした以上、会長を助けて一生懸命やってみたいと考えております。どうぞよろしくお引き廻し下さい。

私の場合、終戦直後の昭和二十一年に旧制上田中学に入り、学制改革後、上田松尾高校併設中学を経て、二十七年に高校を卒業するまで、まる六年間を母校でお世話になりました。その意味でも、人一倍、母校への感謝の気持と誇りとを身につけることになったように思います。

幸い、そのような同輩の五十期の友人達の多くが、現在同窓会の仕事にも熱心に取り組んでいてくれます。そんな人達にもいろいろ教えてもらいながら、母校にもささやかな御恩返しができることになれば、望外の幸せに思われます。

このような次第で、これから、ひろく会員の皆さんのお話も聞かせていただくなど、会長の下で、精々務めてみたいと考えておりますので、重ねてよろしくお願い申し上げ、御挨拶といたします。

（もたい　しげる／50期）

ごあいさつ

新副会長　池田　松子

このたび関東同窓会の副会長という大役を仰せつかりました。私は家庭の主婦であり、会務の運営についての経験などは全くございません。山崎新会長は自然体でよいから、力まず一緒に役割をこなすようにと望んでおられる。いろいろと考えた結果、意を決し私の出来うる限りを尽くしたいと存じます。

私は、上田高校の女性として第一期卒業生でございます。男性の中で少数としての交流は慣れているのですが、女性としての視点で物事を捕らえることが何かの役に立つことを仲間とともに経験しております。それは決して力みでなく、自然体の中で女性としての優しさとデリケートさが利点として活かされることであります。

私どもの52期も同期生としての仲間意識を良い意味で活用しています。こういう身近な経験から、参考になる良いものを拝借して会務に役立つものは使わさせて頂きたいと考えております。大役をお引受けするにあたっては、私が副会長となることによって、女性同窓生の参入が増えるきっかけが生まれるならば、少しはお役に立てるのではないか、と考えた次第です。

そのためにも、どうぞ皆様の温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

（いけだ　まつこ／52期）

新幹事役員氏名

相談役	島田　次郎21
〃	大森　頼雄23
〃	馬場　長市25
〃	坂井　実雄28
〃	矢島　五郎31
〃	神野　勝男36
〃	小林　郷司40
〃	横山誠之助42
〃	柳沢　廣44－5
会長	山崎　延秋48
副会長	小木曽　誠48
〃	甕　滋50
〃	池田　松子52
幹事長（代行）	池内　紀雄56
副幹事長	武田　直樹60
〃	岩井　重一62
会計長	高木　快雄53
監事	原嶋佐吉44－5
〃	堀内茂雄44－4
企画委員長	馬場　武彦54

ご協力のお願い

総会開催にともない、いままでは、出欠にかかわらず、受取人払いのハガキを使用していましたが、今回からは、出席予定の会員の皆様だけに、切手を貼っていただいた上で、投函していただくことになりました。切手代は、大会会場受付で、50円硬貨をお渡しすることでご返却申し上げます。

すべて、経費節約と受付事務の合理化のためです。よろしくご協力の上、お仲間を誘いあって、多数の会員のご参加をお待ちしています。

㊗49号発刊―われら49期　有志一同

青木喜久彌
新井通夫
石井智憲
荻原　賢
大石和男
小口芳彦（旧姓池田）
小澤泰衛（旧姓岩崎）
唐沢昭雄
小林喜六（旧姓小宮山）
佐藤芳徳

櫻井寛幸
城下幸雄
龍岡　櫻
田村和男
土屋　正
遠山益男
永島啓二
西野入利生
西野　勲（旧姓後藤）
花岡　潔

藤家　衛
堀内寅次
牧内泰道
町田健一
松岡秀夫
宮坂　亨
森泉修一
山岸光臣
山崎睦夫
依田貞男

49期

49号

会報　うえだ

上田高等学校関東同窓会

新しい世話役です

各期の連絡はこの方々へ

新幹事名簿
○印、代表幹事

【23期】○大森頼雄
【24期】○依田赳夫　石井操
【25期】○馬場長市　石井義雄
【26期】○上田政男　倉島直喜
【28期】○吉田為雄
【29期】○井村薫　鎌原義則　六川善一　坂田敏雄
【30期】○原相模　峯村文人　山岸一一　柳沢胖　赤松暹
【31期】○矢島五郎　土屋学　玉井康彦　寺田直
【32期】○中村礼三　清水信　永井義一　渡辺綱男
【34期】○砂田昌寿
【35期】○大井卓雄　石倉謙一　渋澤元則　城田賢　滝澤正
【36期】○小林正登　神野勝男　武捨久男　山本五助　韮沢嘉雄　田中六郎
【37期】○浅野恭平　関邦雄
【38期】○清水幾男　矢島勇雄
【39期】○長藤勝　菊地博
【40期】○小林郷司　丸山英一　柳沢澄男　荻原愈　井上忠雄　児玉安彦　田玉清次　境沢正人
【41期】○宮下俊夫　飯塚哲夫　生島信夫　齊藤好一　田中稔治
【42期】○横山誠之助　小林孝雄　大滝善夫　高橋砥市　飯島叔男
【43期】○松園裕　上野敏雄　小林勇　佐々木三夫　土屋啓　中沢信
【44-5期】○竹越教　小林義徳　原嶋佐吉　両角天
【44-4期】○堀内茂雄　成田澄男　峰村昭三　高橋昭平　滝沢源平　山本勝　星野賢造
【45期】○山辺力　春原新作
【46期】○春日敦美　神林常視　三井周　小西幸男　工藤忠房　丸山浩一　長谷川潔
【47期】○三井芳郎　沓掛元砥　小山邦朋　豊城乾　関利久　西沢祥平　柄沢和彦
【48期】○清水卓　小林芳彦　小木曽誠　中沢利雄　堀内惇　宮沢武夫　村上信三　畠山寛　柳沢健　山崎延秋
【49期】○遠山益男　土屋正　櫻井寛幸　田村和男　石井智憲　新井通夫　大石和男　荻原賢　西野入利生　花岡潔　小沢泰衛　堀内寅次
【50期】○五十嵐明迪　西野明　纈滋　井出藤寿
【51期】○村田寛　保坂利勝　堀内弘栄　掛川国雄　中沢良行
【52期】○上原佳和　田中芳夫　池田松子　柳沢忠　柴田正人　青柳位紗男　石井正彦
【53期】○須田武久　堀内忠久　若林清和
【54期】○小市則夫　伊沢多喜男　市河富弘　小堺一雄　後藤弘　望月源治　沓掛文哉　橋詰守人　竹重節雄　関正勝　馬場武彦　浜村希志夫
【55期】○堀内良幸　遠山武彦　宮島光男　飯島慶三郎　鶴見貞夫　長峰道明　伊藤典久
【56期】○池内紀雄　瀬下昌孝　小山荘司　大久保治夫　渡辺善国
【57期】○宮坂幸雄　渡辺静雄　桑原恒雄　岡村潔
【58期】○金子親碩　宮川克彦　金井久
【59期】○桜井賢悦
【60期】○小林秀芳　中垣貫三　沼形泰枝　荻原武仁　柳沢直治　武田直樹
【61期】○三井文人　山極敏郎　中井崇　清水勝紀
【62期】○田島善光　岩井重一　秋田勇　小泉邦夫　依田欣五郎　宮崎信二　石井武久　片山隆行
【66期】○北沢英男
【67期】○山崎哲
【68期】○土屋耕太郎　小林照明　碓田茂
【69期】○古畑克己

ますますの発展を祈る

三年間の協力に感謝

退任あいさつにかえて

会長　横山誠之助（42期）

上田高校関東同窓会の皆様お元気でお過しのこととお慶び申し上げます。

平成二年六月の総会で関東同窓会の会務運営を命ぜられてから早いもので三年の月日が経過致しました。

この間、会員の皆様方の多大のご支援、ご協力ならびに幹事・役員の皆様の一方ならぬご努力とお力添えをいただき誠に有難うございました。改めて厚く御礼申し上げます。

この三年間何をしたのかと問われれば、誠に忸怩たるものがありますが、会長就任の際申し上げましたように普段着の同窓会を目指し、さらに(1)組織の強化、(2)財政の健全化、(3)各期同窓会の活性化の三つの重点目標を掲げて頑張って参りまして、過去から将来へつなぐ鎖の一つの輪の役割を曲がりなりにも努めさせていただいたのではないかと存じます。

また、次期会長に48期の山崎延秋君をご推薦申し上げ幹事会のご承認をいただきましたので、総会での正式決定をお願いしバトンタッチをしたいと思います。今後の関東同窓会に対する新会長はじめ新役員の皆様のさらなる前進をご期待申し上げる次第でございます。

終りに、関東同窓会のますますの発展と会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げ、退任のあいさつといたします。

若き世代にバトンタッチ

副会長　小林　孝雄（42期）

42期は今年三月卒業五〇周年を迎えた。上田在住の諸君により、記念事業実行委員会が設けられ準備を進めてきたが、いよいよ来る七月十日（土）上田高校同窓会館において、式典および物故者法要を行い、同日夕新鹿沢温泉に場所を移し、懇親会を催すこととなった。

本記念事業の計画内容説明および懇親会をかねて、去る二月二十四日夜、新丸子「信濃屋」において、久々に関東地区42期クラス会を開催した。このために、上田より幹事を代表して沓掛信敏氏および花岡尚君が出席され、関東地区幹事高橋祇市君の司会により、記念事業の内容と進め方について詳細説明が行われた。当日は約三〇名が元気な顔を揃え、五〇年前の懐古談に花を咲かせた。

42期は過ぐる大戦に参加して戦死した者を含め、現在までで四十七名の者が鬼籍に入った。眼を閉じれば一人一人の青春の頃の姿が、懐しく浮かび上ってくる。我々は今後彼等の果せなかったところを補い、その霊に報いていきたいと思う。

横山会長と共に運営の責を担ってきた関東同窓会も、近く若き世代にその運営を引き継ぐこととなった。知性と情熱こそがリーダーの使命である。同窓会の益々のご発展を期待してやまない。

貴重な体験、思い出……

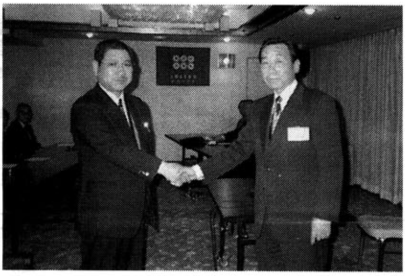
幹事長　馬場　武彦（54期）

三年前、幹事長という思わぬお役をお受けして、横山会長の提唱された同窓会の原点に立って、一人でも多くの人が参加出来る普段着の同窓会を目指し、財政の健全化も図りながら、夢中で過ごした任期であった。

特に印象的な事実は会報作りである。原稿と広告をいただいて、組み立てれば出来るじゃないか、と云われてその気になったところが並大抵でないことに気がついた時は後にも引けず、しかし、人材豊かな会員諸兄の「広告なら何時でもどうぞ」等、絶大なご協力で、素人編集人の私を盛り立てて下さった方々を思い出し、あらためて三年間のご協力ご支援に深謝する。

三年の任期は短かい様で、実は長く感じる歳月であった。前述の会報作りはもちろんのこと、年に一度の大会と数回の幹事会で、同窓生と接した機会の多い中、人格の優れた方、才知の卓越した方等に接し、これからの人生に参考になる勉強をさせていただいたことは、忘れ得ぬ思い出となろう。

山崎新会長さんにバトンタッチされて世代は変るが、会員の皆様には、引き続きご支援を仰ぎ、横山体制にお寄せ頂いたご協力に謝意を表わし、一人でも多くの方々と出会える同窓会を楽しみに、退任のあいさつと致します。



「三年間ご苦労様でした」「あとはよろしく」。横山会長から山崎新会長へのバトンタッチ＝2月13日の幹事会で

平成4年度決算報告書（案）

4．4．1～5．3．31　単位：円

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
前期繰越金	3,730,356	3,730,356	0	大会費	1,500,000	1,181,980	△318,020
大会費収入	1,500,000	1,311,000	△189,000	会報費	800,000	681,704	△118,296
会報広告料	400,000	521,500	121,500	事務費	300,000	295,012	△　4,988
年会費収入	2,400,000	2,397,000	△　3,000	通信交通費	100,000	102,791	2,791
受取利息収入	150,000	124,289	△ 25,711	会議費	400,000	568,043	168,043
雑収入	50,000	67,000	17,000	渉外費	350,000	409,159	59,159
（小計）	(4,500,000)	(4,420,789)	(△ 79,211)	印刷費	850,000	909,902	59,902
				雑費	100,000	35,500	△ 64,500
				予備費	100,000		△100,000
				（小計）	(4,500,000)	(4,184,091)	(△315,909)
				次期繰越金	3,730,356	3,967,054	236,698
合計	8,230,356	8,151,145	△ 79,211	合計	8,230,356	8,151,145	△ 79,211

平成5年度予算（案）

5．4．1～6．3．31　単位：円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	3,967,054	大会費	1,200,000
大会費収入	1,400,000	会報費	700,000
会報広告料	400,000	事務費	300,000
年会費収入	2,400,000	通信交通費	100,000
受取利息収入	150,000	会議費	600,000
雑収入	50,000	渉外費	500,000
（小計）	(4,400,000)	印刷費	900,000
		雑費	50,000
		予備費	50,000
		（小計）	(4,400,000)
		次期繰越金	3,967,054
合計	8,367,054	合計	8,367,054

基金特別勘定

5．3．31現在　単位：円

科目	前期繰越	当期	期末残高
運営基金	6,480,000	230,000	6,710,000
基金利息	1,474,620	324,378	1,798,998
合計	7,954,620	554,378	8,508,998

安田信託銀行神田支店

定期預金残高	8,490,000
普通預金残高	18,998
合計	8,508,998

基金目標　1,200万円

目標まで529万円。１口１万円。１人何口でも結構。

早期達成にご協力をお願いします。

（拠金は同封の郵便振替用紙で）

焼肉 道海山 ＝安くて豪華＝
同期会にご利用を

焼肉部統括　関　正勝（54期）

支配人　若谷悦正

東京都江東区亀戸１－２－３
クマガイビル１Ｆ
ＴＥＬ（03）3685－８９２９
ヤクニク

案内図
錦糸町
亀戸
平安閣
松代橋
京葉道路
富士BK
横十間川
道海山
明治通り
第三亀戸中
錦所橋
首都高速
大信

株式会社クマガイ

●建設大臣許可（特-1）第4434号
●㈱クマガイ一級建築士事務所第1-8808-1137号
●宅地建物取引業知事（1）第9143号
●Ｈグレード認定工場（第12．Ｈ．6002号）
●クレーン製造認可工場

取締役本店長　関　正勝（54期）

株式会社クマガイ東京本店
〒136　東京都江東区亀戸１－２－３
Tel：03-3638-1511㈹　Fax：03-3638-1515

コミュニケーション広場

42名で都庁を見学

39期＝青々会が東京で年次大会

【とき】平成4年5月29・30日

【場所】乃木坂健保会館

第39回年次大会を関東地区の主催で開催したところ、郷里より17名、関東・関西より25名、総計42名が参加、かつてない多数参加の大会となった。

参加者は次の通りである。

【郷里】西沢弥八、薮原秀治、小池清喜、田中純一郎、北村国夫、桜井幸男、清水輝夫、鈴木君人、大沢進、田崎郁彦、伊藤新平、関川一郎、塩沢順四郎、滝沢晴雄、高木南越、丸山保宏、荻原光由以上、17名。

【関東・関西】竹中幸彦、長藤勝、高橋順、菊地博、塩野崎恵、北村国雄、平林正則、児玉一彦、柳沢寛一、永田幹夫、田村健二郎、矢島良衛、橋詰亨、大塚唯男、牧内正志、松尾勝人、志津田瑞穂、横関嘉伸、高柳弘（広島）、小田中直人（堺）、田中浩太郎（名古屋）、草間泉（京都）、林守（諏訪）以上25名。

我々の年次大会は、今年で第39回ということであるから、昭和28年以来連綿と続いていることになる。恩師、笠井南村先生が命名された青々会を今日迄務めてこられた郷里役員方々の熱意とご尽力に敬服するのみである。この伝統ある例大会を東京で開催することとなり、その際のメインイベントとして都庁見学を検討して欲しい旨の提案があった。移転後の新都庁舎は全国から見学者が集り、延々長蛇の列をなしている状態で、これが実現に当初より随分と頭を悩ませてたが、幸にも同期の橋詰亨氏並びに関係先の協力があって参加者全員満足のゆく見学が出来た。掲載の写真は其の時のものである。都内でも有数の混雑の激しい新宿駅周辺を迷子にならないよう、数班に分け声を掛け合って健保会館に全員無事到着したことも今では懐しい思い出の一駒である。

定刻6階の大宴会場に相集い、総会に引き続き懇親会となったが、初参加の京都在住の草間泉兄と東京都在住の平林正則兄、遠方から広島の高柳弘兄、久々の参加では流山市の志津田瑞穂兄と八王子市の横関嘉仲兄等、元気な再会を喜び合い旧情を温めながら元気溌剌、和気藹々として、時間の経過を忘れるほどの盛会であった。

翌日はあいにくの雨となったが、東京駅南口から〝はとバス〟に便乗、「浅草観音と仲見世・隅田川遊覧船―橋めぐり―東京タワー」のコースを楽しみ、帰着後東京駅構内の精養軒にて昼食を兼ねての解散パーティーを開き、全員上気嫌で再会を約し帰途についた。

末尾となったが、関東同窓会を代表して馬場幹事長が来場、歓迎の挨拶を述べられ、出来たての会報47号を全員が頂戴したご厚誼に対し紙面を借りて感謝の意を表したい。

（39期、長藤　勝）

サッカー東京OB会

美人チームと対戦

昨年十二月正式に結成されたサッカー在京OB会（会長黒坂盛三氏＝48期）の定期総会と練習試合が四月十日開催された。

練習試合は、いつものように東京電力砂川グランドで行った。

在京OB会からは、坂口（53期）、深町（54期）をはじめ、宮川（68期）等の若手十四名の諸氏が参加し、相手は、東京電力OB、東京女子体育大学現役、飯田高校OBと私立高校共済組合との混成の三チームであった。

従来は、参加チーム総当りが恒例であるが、今回は女子体育大学から五十名の参加となったので、各チーム共に女子体育大学と対戦することとなった。

在京OB会チームは、1―0、2―2、2―0の二勝一分けの成績であった。

女子チームとの対戦では、チョットでも相手に触れるとファールとなり、気を使わされるので、意外に疲れるものである。

美人チームとの対戦も楽しいが、土のグランドで、土のニオイに浸りながら、汗を流して走り廻ることに喜びがある。土の感触の中に青春期があったからだろう。

心地よい汗を流した夕刻から定期総会である。

信濃町近くの「陣屋外苑店」には、大先輩の柳沢（27期）、サッカー部を復活させた上原（47期）、上田から馳せ参じてくれた高野（48期）の諸氏をはじめ、砂川グランドで走り廻った人々が集まって、二十一名の出席となった。

そして、嬉しいことは、仙台勤務の田中博氏（66期）が、東京に転勤となり出席をし、土屋光博氏（68期）も出席してくれたことだ。

総会では、五年度の活動計画案が、予算案と共に満場一致で承認され、母校現役に対する積極的な支援、在京OB会の練習マッチの開催、八月の軽井沢サッカー・フェスティバルへの参加、上田本部OB会と合同で行う名簿の作成などに取り組むことになった。

また長野県高校サッカーOB大会開催の情報提供もあり、楽しい一時であった。

共にボールを蹴った仲間の顔がみられないのは淋しいものだ。次回には是非出席をと期待しての散会でもあった。

（48期　小林芳彦）

トピックス

関東同窓会有志が、さる五月十五日、いま人気の相撲部屋を見学しました。

世話役は62期の岩井重一氏、見学したのは、名門の佐渡ケ嶽部屋で、ちょうど夏場所中とあって、朝稽古のまっ最中。一同、あまりの迫力に、眠気もふっとび、続いて供されたチャンコ料理に舌鼓をうってきました。

なお当日の参加者は、横山誠之助会長（42期）、馬場武彦幹事長（54期）他21名でした。

（写真は、佐渡ケ嶽部屋で朝稽古を見学する参加者）

「山ざる会」も

5年度総会

二月五日、高風荘（農林公庫）に於て、「山ざる会」を矢島先輩（元関東同窓会会長）以下二五名の出席の下に開催しました。

今回は横山会長、馬場幹事長の御出席を得て、「山ざる」の面々も一層元気づけられ、大盛会でした。

「山ざる会」は昭和三三年に傍陽出身者が、上野の山に先輩・後輩ささやかに集ったのに始まり、二十年位前から長・本原（現在の真田町）、神科、豊殿等東北方面の出身者を中心とした同窓会となり、年に一度の会合を持っています。

会長は、内海辰三（44期）、幹事は、堀内茂雄（44）、柳沢義視（46）、三井周（46）、三井芳郎（47）の四氏で、会員数は、目下六二人。新メンバーの御参加をお待ちしております。

当日の参加者は、来賓の横山会長、馬場幹事長をはじめ、矢島五郎（31）、柳沢喜三郎（40）、小林孝雄（42）、上野敏雄（43）、内海辰三（44）、堀内茂雄（44）、三井周（46）、柳沢義視（46）、神林常視（46）、牧内操（47）、半田幸一（48）、堀内寅次（49）、堀内照雄（51）、上原佳和（52）、半田喜章（53）、村上茂（53）、坂口守（54）、堀内良幸（55）、飯島慶三郎（55）、吉平照男（44）、大久保治夫（56）、西坂洋一（59）の諸氏二五名。

（55期　堀内良幸）

〒通信欄

◎**（34期）故多田貞治氏夫人**

平成四年八月主人が他界しました。何も判りませんので会費だけお送りします。

◎**（46期）故臼田今朝雄氏夫人**

関東同窓会長ご苦労様です。実は四十六回卒の臼田今朝雄去る三月二十八日病死しました。私も染谷高校卒業生でしたので、主人共々会報「うえだ」を楽しみに読ませていただいておりました。会費は平成五年まで納入済です。このまま続けて会報をお送り頂ければ幸いです。

◎**（52期）掛川十次郎**

〝うえだ〟をいつも有難うございます。ご健闘を祈ります。子供が結婚すると、これからを身近か（同窓会が）に考えるようになることに気がつきました。

◎**（52期）稲垣正武**

大変申し訳ありませんでしたが、今まで年会費を滞納していました。何かのきっかけが欲しかったので、平成元年度から五年分納入しました。

◎**（56期）小平節夫**

先日の会報の「会費納入状況欄」57期の欄にも私の名が載っていました。送金する時になって卒業期を度忘れして「57」と書いたような気がします。不況ながら退職金を頂いたので、基金に協力します。

◎**（62期）桑田博章**

一月二〇日付で退職し、一月二二日左記会社を設立しました。

新宿区下落合一ノ八ノ一三
明幹堂ビル四階、（有）ピーシーケイ設計　電話（〇三）三三六六―〇六二五

社員に" ヤル気" を起こさせ、企業体質を強化し
→　高収益・高賃金会社を実現する ………
" 能力主義" 給与・人事制度

賃金管理研究所
所長　弥富賢之
主任研究員　金子親碩　（58期）

〒161 東京都新宿区下落合3－17－25
TEL　03－3953－6761（代）
FAX　03－3953－6697

―不動産のことなら実績と経験の豊かな―

宅建業／千葉県知事免許(7)3253号
建設業／千葉県知事(般―60) 11177号

株式会社 ナガミネ

代表取締役　長峰道明(55期)

〒299-01 千葉県市原市姉崎1981の1番地
TEL 0436 (61) 4700㈹
FAX 0436 (62) 4706

年会費納入者

平成４年10月１日～５年３月31日、氏名のあとの数字は納入済年度
【年会費は2000円、27期以上は免除】

（24期）1名 茂木清文5
（28期）1名 松野輝彦6
（29期）1名 岩下美千穂18
（30期）1名 朝倉保平5
（31期）2名 玉井康彦5 沢田光雄9
（32期）名 永井義一5 外山正博8 村上貢雄5
（33期）2名 佐藤佳良5 中沢亮太10
（34期）7名 工藤善正4 土屋信夫6 多田貞治3 宮原長和4 高見沢正6 滝沢元助5 清水宣人8
（35期）1名 石倉謙一8
（36期）2名 小宮山鉄雄4 松野正7 小林正登7
（37期）2名 清水志郎7 柳田誠6
（38期）2名 塚田裕三9 田中康雄10
（39期）3名 菊地博7 牧内正志4 竹中幸彦6
（40期）4名 田玉清次6 柳沢喜三郎4 竹内武弥4 大塚今朝信4
（41期）5名 高橋一行4 古松彰6 斉藤好一5 斉藤義臣5 生島信夫6
（42期）10名 横田種雄6 今井光男8 六川英夫6 佐藤成男7 揩田巖6 丸山仁志5 小林孝雄6 山浦弥六4 田村滋雅6 浅野敏正5
（43期）3名 金子太吉8 平林直 横沢昭安7
（44－5期）7名 田中悦次4 池田美登6 荻原理宏6 児玉喜年8 中島和夫7 山口平八4 古平照男5
（44－4期）9名 宮入正一5 手塚栄三郎4 井出正人9 星野賢造4 柳沢啓一5 所昭三5 竹内幹夫3 柳沢清史7 山本太一6
（45期）1名 高藤基8
（46期）4名 池内省三8 佐藤信6 中島正夫9 滝沢敦美4
（47期）8名 山崎繁廣5 田沢徹5 余地毅5 宮原俊雄9 加藤文郎7 水野純7 宮崎博文4 山岸五郎7
（48期）7名 入山一徳4 酒井寛文5 甘利尚人6 池田幸雄5 大平暁5 萩原達夫4 田中克巳5
（49期）15名 田中信二4 飯島重4 雨池昇5 鈴木一彦5 加藤毅4 前田芳造5 原行明5 中澤両8 山岸万亀男6 宮下彬英10 高野郁雄4 町田健一5 白井道也5 上野貞夫4 大石和夫5
（50期）11名 上原健一4 西野明9 町田洋一5 秋山忠利5 茅野忠重8 佐藤智彦5 滝沢主計5 高畠通敏5 平林浩5 石井昭衛5 戸部登喜一5
（51期）15名 母袋博一4 中島通明6 太田幸男6 六川二郎7 堀内弘栄8 平井秀男7 石巻史郎7 清水順7 中沢良行5 児島和人5 掛川国雄7 足達健8 山本晏久5 山崎秀夫4 上原昴4
（52期）13名 森浩一4 石合正和7 甲田広行8 佐々木淳二9 柳沢照治5 稲垣正武5 青木功9 吉沢正人4 生駒利行7 関順一郎5 堀内孝久5 掛川十次郎6 水出康雄4
（53期）15名 坂口茂広7 服部聡一郎5 渡辺百技7 岩崎渉5 山極省平4 柏村孝行4 宮入達雄4 池田民雄5 岩田久5 芹沢袈裟三4 藤森善也4 潤賀康成7 武重賢治9 峰岸哲造4 塩野入剛7
（54期）12名 宮崎武男4 小林勝利7 磯正泰4 滝沢英統4 竹花正章6 宮入裕夫5 松林寿夫4 滝沢義信4 山本大吉郎5 柳沢明4 石原澄江6 玉野敏雄8
（55期）5名 清水武雄7 宮入健二郎5 滝沢哲三5 清水好昭5 荒井垣雄5
（56期）12名 中村甲治4 翠川和彦5 白井利彦6 長崎哲夫4 大野和男4 西島幹夫4 内海章緒5 伊藤稔5 田村功7 佐野勝雄4 吉池鴻允5 永野寿一8
（57期）7名 上原典久5 前田由美子5 野田晃弘4 杉原弘一4 馬場健一5 白倉憲二6 宮坂幸雄5
（58期）12名 秋葉義広4 滝沢一彦5 鎌原昭治7 本田祥治7 城下尚6 小林計次4 関順一5 久保田達夫5 荒井公雄5 大島仁士4 手塚洋兵4 小林紘正7
（59期）4名 指宿淑子7 浦原則夫5 有賀勝雄5 荒井長利6
（60期）2名 橋本隆弘4 沓掛行徳5
（61期）3名 宮島英紀11 宮沢達士5 清水克彦4
（62期）4名 桑田博章4 浅井保雄4 渡辺幸治5 栗山正雄5
（63期）3名 市村富男9 金井衛7 林壮治8
（64期）3名 小谷正行7 有賀猛4 馬場四郎4
（67期）1名 中島一久4
（69期）2名 栃原重文9 浅野祐三5
（75期）1名 荻原美保5
（79期）1名 大塚敦5
（80期）1名 鈴木巳季4
（72期）1名 小宮山修邦6
（期不明）武重亜紀4 他に、2名分、6千円が不明。

運営基金拠出者

前号発表分以降各期順
平成4年10月～5年3月

39期	竹中幸彦	一万円
43期	横沢昭安	一万円
53期	塩野入剛	一万円
53期	峯岸哲造	一万円
56期	永野寿一	一万円
56期	小平節夫	一万円
57期	宮坂幸雄	一万円
62期	岩井重一	三万円
72期	小宮山修邦	一万円

累計六七一万円

関東同窓会 ―お耳役帖―

その④

土屋　学先輩（31期）

矢島会長並に小林会長時代は監事として御努力。大昔から同窓会をカゲで支えられた感謝状的な方。常に会報の広告にもご協力。

長年コンピューター部品製作会社を経営されていた。実に多趣味な人で、囲碁・ゴルフ・ジョギング・音楽鑑賞など。また、スポーツマンでもあり、剣道では昭和19年官庁実業団全国大会で優勝、テニス、野球、卓球もこなされる。

65才でゴルフを始めて67才で小松原三夫道場へ。そして理事長となる。道場のポスターに自ら登場され、私鉄の中吊り及び駅の貼り出し広告で活躍。小松原三夫レッスンプロと大古プロと二週間ゴルフ番組に出演。ハンディ17。

荻原　愈先輩（40期）

基金委員長として、運営基金の目標達成のため、PRや拠出依頼などエンの下の力もち役を務められた。古くからの幹事さん。

小諸市六供の出身で、長らく電気通信業界で活躍された人である。

幼少の頃から囲碁・将棋を始められ、その後は小唄・ゴルフと幅広い趣味。「スポーツは下手だが、何でもやったんだよ」と語られる万能型。

「中学時代は射撃部に属していた。今はないね。OB会もないのが、ちょっと淋しいよ」と往時をふり返られる。

目黒区自由ケ丘に居住され、ゴルフと小唄で悠々自適の日々を過ごしておられる。

生島信夫先輩（41期）

当時の副会長。実に几帳面で温厚な丸子町出身の紳士。都公立学校長を12年間も務められ、現在は日本教育評論家協会副理事長兼事務局長。

読売新聞（昭62・11・1付）の「論点」欄で、「教師は児童と共に生きがいの追求を」と題し、堂々たる論陣も張られた。

「限りなく青春であれと願いつつ、今をこれからを、価値あるようにと試みている」

「教え子と美酒を共にするのが最高だよ」「ロマンと情熱で知の創造にチャレンジを続けたい」と述べられる姿は、実にお若い。世田谷の祖師谷で、奥様とゆったりと居住されている。

斉藤好一先輩（41期）

当時は会計長としてご苦労頂いた勤厳実直な方。旧長窪古町のご出身で、練馬区東大泉にお住まい。四十年間に亘り企業の経理業務に携わり、手堅い腕をふるわれる先輩である。

「最近読んだ本では、大野誠治著の〝宮崎輝の遺言〟が印象に残る」と述べられる読書家でもあられる。

「スポーツは、おつき合い程度のゴルフ、趣味は昼休みのザル碁かな。それも忙しさに追われて、あまりできないが」とちょっと残念そう。

しかし、休日には家庭菜園で、汗を流されるのを楽しみにしておられる温厚な先輩は、ますますご健在である。

上野敏雄先輩（43期）

当時は草創期からの幹事で、業務委員長として、会報の発送など縁の下の力もち役を務められた。

長年教師をなされ、多くの教え子に慕われている心温き西内村ご出身の人。

「私の家には弓道場があった関係もあり、中学時代は弓道、大学時代は軟式野球をしていた。今は月一～二度の下手の横好きのゴルフ」と語られる先輩はなかなかのスポーツマンでもある。「今は糖尿病の治療に励んでいる」と語られるが元気いっぱい。

港区高輪にお住いだが、中軽井沢にも家があり、行ったり来たりして信州の香りを味わってる羨しい人。

原嶋佐吉先輩（44―5期）

当時は総務委員長として努力して頂いた。東京獅子会の永代幹事として同期生のまとめ役的人物である。

旧神川村のご出身で、当初は代々の家業の建設業に携われたが、昭和31年から宝石・貴金属製造卸し業の社長サン。四谷三栄町には立派な自社ビルを構えておられる。

趣味はゴルフ（シングル）と発明（実用新案実に41種）。スポーツは万能で、剣道からモーターボートまで多彩。

長野県人会連合会副会長・新宿区長野県人会長・新宿ライオンズクラブ元会長・四谷間税会副会長など要職多々。

「残り少ない時間を限りなく有効に使って生きている。勿論そのための基本ともいえる健康に関しては、人一倍の配慮を怠らない」。

堀内茂雄先輩（44―4期）

当時は副会長を務められたが、その前・後会長のもとで、副会計長・会計長として活躍された方。国税局勤務約12年、その後税理士を開業されて約30年。この業界では名が通っている。

無趣味だと言われるが、何事にも関心を持たれる積極派。ここ三年は、西野流呼吸法の皆勤的なマジメ会員。気功の話が出ると先輩の弁舌は止まらない程。

真田町傍陽の出身で「山ざる」会のリーダー的存在であり、お仕事がら「税友会」の重鎮でもある。

なかなかのスポーツマン、ゴルフはハンディ15。男にも女にももてるオジサンは、墨田区業平が根拠地である。

事務局日誌

▼十一月十一日　野沢南高校同窓会東京支部総会が、東京ガーデンパレスで。小林孝雄副会長、堀内会計長、馬場幹事長出席。

▼十一月十九日　長野県同窓連役員会。横山会長出席。

▼十一月二十一日　上田千曲高校関東支部総会が、健保会館で行われ、山崎・小木曽両副会長、馬場幹事長出席。

▼十二月十一日　東信高校同窓連役員忘年会。健保会館で、横山会長、山崎・小木曽両副会長出席。

▼十二月十二日　会報「うえだ」48号刷了。

▼十二月十二日　幹事忘年会。五十名出席。

▼一月三十日　相談役会。如水会館。相談役五氏と横山会長他三名出席。

▼二月十三日　長野県高校同窓連平成五年度新年会。健保会館。横山会長、山崎副会長。

▼二月十三日　幹事会を兼ねた新年会を五時より健保会館で。経過報告。会計近況報告に続き、横山会長任期満了による次期会長の選出がなされ、山崎副会長が指名されて、満場一致で新会長が決定。

▼三月二十九日　会報49号の打合わせを飯田橋で。

▼四月二十四日　半蔵門会館で役員会。新体制人事三十二回大会について、横山会長、山崎・小木曽両副会長、堀内会計長、池田・池内両副幹事長、馬場幹事長らが討議。

▼五月十五日　相撲の佐渡ヶ嶽部屋を横山会長他十一名で訪問、夏場所中の朝稽古を見学。

▼五月十七日　会計監査を如水会館で。韮沢・飯塚両監事により受ける。

▼五月二十二日　幹事会を健保会館で六時より。六十二名が出席。平成五年度の諸計画、三十二回大会実行委員期選出等がなされた。

編集後記

今春、高速道路が佐久まで開通して、母校の上田へは三時間余りで行ける時代になったとは、夢のようである。

三年前、当時の山崎前幹事長さんのご案内で、新旧幹事長が、本部同窓会を訪れた時は半日仕事であった。

冬期五輪を数年後に控え、東北信の変貌は著しいが、世相は経済不況打開、政治改革と、これも又大きな変革をしようとしている。

我が関東同窓会も、幾多の大先輩が築いてこられた礎を発展させようと、歴代の会長さんが頑張って来られた。横山会長体制では、会報「うえだ」を執行部で発行して来たが、会報制作の経験をされた先輩から、会報作りは〝ナメタライケナイヨ〟といわれたことが、三年目のこの49号でその真意が実感出来た。

会員の皆様に不備、不行届きのあったことをお詫びし、「知らぬが仏」で会報作りに携わった素人編集人は、穴が有ったら入りたい心境である。

毎号深夜まで校正をして下さった、中村礼三（32期）先輩、紙面構成でお知恵を拝借し続けた、山崎・小木曽両副会長、技術面で献身的に補佐をされた小林秀芳（60期）氏の方々に厚く感謝を申し上げ、49号の編集後記を感激の中に閉じます。関東同窓会万歳！

（馬場記）

第32回㊗会員総会

48期有志一同

相田俊一
赤羽忠雄
井出洋二郎
入山一徳
今井正明
浦田光雄
小川光敏
小木曽誠
川上道輔
桐山博光
熊川次男
小林啓之介
小林芳彦
小山馨
酒井良知
坂梨港
篠原泰司
清水卓
清水貞吾
清水雄司
田中克巳
田原敬
田村貞夫
塚田正直
富田幸正
中沢利雄
西沢昇
西沢博
畠山寛
半田幸一
堀内惇
松本守弘
宮崎恵二郎
宮沢武夫
宮島勲
宮山栄二
村上信三
柳澤健
山崎延秋
吉村幸治